

令和6年度 学校経営計画書

学校番号	39	学 校 名	静岡県立静岡農業高等学校	校 長 名	望月 康弘
------	----	-------	--------------	-------	-------

1 スクール・ミッション

静岡県中部地区の3系列、5学科を有する全日制農業科専門高校及び静岡県の農業教育中心校として、「真実・自律・友愛」の校訓のもと、常に「生徒と共に、地域と共にある」ことを目標に、実践的な農業教育を推進し、感謝の気持ちや思慮深さ、チャレンジ精神や創造力・想像力・実践力を持ち合わせた地域でリーダーシップが取れる人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
「農こそは国のもとなり」の理念のもと、知る力、活かす力、応える力を発揮できる人材を育成する。 - 心豊かな人間性と基本的生活習慣を身に付け、求めて学ぶ姿勢の育成 - 農業教育を基盤とした学びと、各学科における専門的知識と技術・技能の習得 - これからの社会を生き抜く力と地域社会に積極的に関わり、貢献するための資質・能力の育成	- 充実した授業による基礎学力保障とともに、実践的な実験・実習 - 自己目標の明確化と自己実現のための3年間を見通したキャリア教育 - 学びを生かすための積極的な地域交流・地域貢献等の多様な学びと体験の充実	- 本校の校訓及び教育目標に共感し、地域社会に貢献する高い志を持つ生徒 - 農業・環境・食品等に対する興味・関心を持ち、主体的に学ぶ生徒 - 基礎学力を有するとともに、実験・実習等に積極的に取り組む生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 基本的生活習慣を確立するとともに、教養力を高め、心豊かな人間性を育む教育の推進と安全・防災意識の高揚に努める。
- イ 求めて学ぶ姿勢を育て、農業教育を基盤とした学力向上と専門的知識・技術の習得とともに、プロジェクト学習等の特色ある充実した授業により、魅力ある学校づくりを推進する。
- ウ 産学官及び地域連携・地域貢献等の教育活動を推進することで、コミュニティスクールとして地域に信頼される学校を目指す。
- エ 学系及び学科、学年、分掌等の連携を推進し、生徒指導及び教育相談、キャリア教育等の充実を図るための体制を構築する。
- オ 学校行事、部活動、課外活動等に主体的に取り組む生徒の育成を図る。
- カ ICT活用及びネットワーク等の環境整備・充実とともに事務処理等の効率化を図る。
- キ 経営計画に沿った教育活動の充実のために、良好な学習環境の整備・充実を図る。
- ク 農業科関連部門において、望ましい農業生産工程管理及び食品衛生等の管理を確立する。
- ケ 教職員の働き方改革に取り組み、ワークライフバランスを推進する。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
1	豊かな人間性を育む教育と安全・安心な教育活動の推進	学校・家庭・地域が連携した保健・相談活動及び交通安全、災害発生を想定した防災訓練等を機能させ、関係機関等と連携を図り安心・安全で充実	- 生徒会とPTA安全委員が合同で行う街頭指導の実施。 - 千代田消防署と連携した防災訓練の実施。 - 地域防災訓練参加率 80%	総務

1	豊かな人間性を育む教育と安全・安心な教育活動の推進	した教育活動を推進する。 ・全教職員による生徒への声掛け指導を継続的に実施し、さわやかな挨拶、正しい言葉遣い、整った身だしなみを身に付けさせる。 ・読書や芸術鑑賞等の体験を通して豊かな知識、教養を身に付ける。 ・朝読書の実施。 ・図書館だよりの発行。 ・朝食摂取率を高めることで生徒の 1 日の安全で活発な活動に繋げる。 ・新入生全員に対する 1 分間カウンセリングの実施。 ・スクールカウンセラーとの連携 ・全学年の生徒に対して学校生活に関するアンケートの実施。(1, 2 学期) ・相談室の常時開放。 ・5 S 活動を基本とし事故防止や安全、衛生指導を徹底した実習環境整備を行う。	以上。 ・定期的な登校指導、挨拶運動の実施。 ・身だしなみ検査初回合格率の全校平均 85% 以上。 ・年間貸し出し数を全校で 2500 冊、一人当たり 4 冊以上。 ・全校生徒対象の芸術鑑賞教室を 9 月に実施する。 ・朝食摂取率年間平均 97% 以上を目指す。 ・学校生活を含め不安を感じている新入生に対して、安心して高校生活を送れるように早めに対策を講じる。必要に応じてスクールカウンセラーとのカウンセリングを実施する。 ・体調面から心身の状態を把握し必要な生徒には早めに面談等を実施し見守る。 ・相談したい時にいつでも相談できる体制を整える。 ・関係法規を遵守し、安全点検を日常的及び定期的に(年 5 回)実施する。	生徒 図書 保健 教育相談 農業
2	生徒の学ぶ意欲を高め、論理的、科学的思考力の育成と特色ある教育活動の展開	・計算力テスト、英単語テストを年間 6 回ずつ、漢字テストを年間 7 回実施する。 ・平成 30 年告示の学習指導要領に対応した年間指導計画およびシラバスの作成と実施、観点別評価の計画と実施。	・漢字、計算力、英単語テストの計画的な実施。 ・平成 30 年告示の学習指導要領への対応。	教務教科 教務

様式第 1 号

5	産学官や地域との連携・貢献活動等による、農業高校魅力化の推進	仕活動を計画的かつ積極的に推進する。 ・大学や産業界・行政機関等地域と協力し、地域貢献・地域連携活動を推進する。 ・学習指導要領に基づき、課題解決型プロジェクト学習を推進する。	・学校祭・農場販売で積極的な地域交流を行う。 ・各学系・学科で講師招請や現場見学、交流活動を実施する。 ・全ての専門科目において端末を活用したプロジェクト学習を推進する。	生徒 農業
6	学校の情報化と校務処理等の合理化推進	・学校ホームページやSNSを利用した活発な情報発信を推進する。 ・諸手続きの事務処理や会計処理の研修を行うことにより、業務の適正化、合理化を図る。	・学校行事等は積極的にホームページにアップする。(週1～2回以上を目安とする) ・SNSを個人情報保護に配慮しつつ適切に活用する。 ・事務処理や会計処理に関する定期的な研修機会の確保と、合理化を図るための業務改善に取り組む。	研修情報 事務
7	教職員の働き方改革とワークライフバランスの推進	・働き方改革に関する国・県の取組を踏まえ、達成可能な目標を設定する。 ・分掌ごと作業目標スケジュール表等を活用し、業務の合理化を推進する。	・夏・冬休み期間に、休暇取得促進日を設定。 ・定期テスト2日目に、定時退勤日を設定。 ・作業目標スケジュールによる業務管理。	総務
8	教育予算の効果的運用と施設・設備の計画的な維持管理	・学校経営計画に基づいた予算編成を行い計画的かつ丁寧な予算運用により教育活動の充実を図るとともに、法令遵守を徹底し、適正な執行を行う。 ・施設・設備を計画的に維持し、良好な学習環境を整える。	・監査、会計物品検査での指摘件数をゼロにする。 ・定期的に施設設備の点検を行い、施設設備に起因する事故発生をゼロにする。	事務

(記入上の留意点)

具体的な重点項目が外部の方にもわかりやすいよう、工夫して記載すること。